

令和元年度第3回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：令和元年度第3回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：令和元年12月2日（月）午後1時30分～3時
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者：協議会委員 山中 長壽／高橋 正子／手塚 正子／堀内 直美／
望月 淳一／深澤 雅子／小澤 志保子
事務局 坂本 あけみ・大塚 美智子・小野 まどか
社 洋子（ながさか図書館）・浅川 さつき（ライブラリー
はくしゅう）

(5) 中央図書館館長挨拶

(6) 協議会会長挨拶

(7) 議事

議題

① 令和2年度の新規事業について

② その他

報告

① 金田一春彦ことばの学校事業の今後について

② 各図書館の近況報告について

③ その他

(8) 公開・非公開の別：公開

(9) 傍聴人の数：2人

(10) 審議内容

署名委員を深澤雅子委員と小澤志保子委員へ依頼

議 題

① 令和2年度の新規事業について

事務局：大きいものは特に予定していません。施設の経年劣化に伴う修繕が主になります。

また、地方公務員法及び地方自治法の改正により、各館の職員は「パートタイム会計年度任用職員（※）」となる関係で人件費の増加が見込まれるため、財政が圧迫されることから来年度も Wi-Fi の設置は見送りとなりました。

※病院関係の非常勤嘱託職員は「フルタイム会計年度嘱託職員」となり勤務時間が1日7.75時間、対して病院関係以外の非常勤職員・アルバイト等は「パートタイム会計年度任用職員」となり勤務時間は1日7.5時間以下となります。

会 長：来年度の事業内容が示されました。質問等ございましたらお願いします。

委 員：人件費が見直されることは良いと思います。

事務局：実際は今年度から「非常勤嘱託職員」となっており、昨年度までは半年ごとの任用更新でしたが1年になりました。来年度は会計年度任用職員の2年目と見なされ、2級21号給を上限として昇給が認められます。

委員：司書は全員ですか？

事務局：そうです。

委員：司書は特別な資格を持っていることもあり本来ならば職員にするべきだと思っていたので、会計年度任用職員になっただけでもよかったと思います。賃金上がるのですね？

事務局：はい、給料表に従って4号給ずつ上がります。令和2年度は2級5号給となり毎年4号給ずつ上がるので、上限の21号給に達する令和6年度まで昇給となります。

委員：退職金はあるのですか？

事務局：退職金はありませんが賞与はあります。これまでは日額×20日分でしたが、会計年度任用職員は夏・冬合わせて1.69ヶ月分が支給される見通しです。また、有給休暇が次年度に繰り越しできるようになります。今回の改正は国の制度に準じて見直しを行っているため夏休み（4日間）については国の制度にはないため一旦廃止となりますが、国も見直しを図るようなので改正が確定されれば北杜市でも取得できるようになる見込みです。

委員：アルバイトと会計年度任用職員の違いは？

事務局：令和2年度からはアルバイト職員も会計年度任用職員となりますが、現アルバイトは司書の休日や出張時における補助、イベントの補助として司書資格の有無を問わず雇用しています。

会長：待遇の改善が図られましたが、まだ1歩ですね。

委員：1歩でも前進して良かったと思います。北杜市の予算の立て方が北杜市全体の人件費と事業費と分けて考えれば、Wi-Fi設置も無理なことではないと思います。

会長：予算配分を人件費と事業費で分けることは理想ですが難しいことですね。

事務局：8館の維持・管理・人件費に係る金額は膨大なもので潤沢な予算とは言えません。たかね図書館は築19年、金田一春彦記念図書館は築21年となり、たかね図書館は昨年トプライトシール（天窓周りの防水加工）補修工事を行いました。先の10月の台風では再び雨漏りが発生しました。原因がわからず2年連続で修繕しており、今回については無償で点検補修をすることになっています。

委員：以前から問題となっている明野図書館の拡張について、費用を抑えて総合支所の1階に移動できませんか？日本図書館協会の考え方（事務局注：日本図書館協会図書館政策特別委員会 公立図書館の任務と目標）に、「図書館の規模として800㎡が最低限必要」とあります。北杜市の場合は地域ごとにあるのでそこまで及ばなくても明野図書館については再考をお願いしたいです。

事務局：北杜市が掲げる30年間で3分の1の公共施設を削減し見直す考えの中で、図書館

の拡張を実現させるのは困難なことです。総合支所への移転については、移動費や新しい場所に合わせた書架の購入だけでも1,000万円以上かかると見込まれています。現状では厳しい状況です。

委員：前回の協議会で要望を上届けてくださっていると聞いて納得しましたが、58.8㎡という狭さと高い書架は子供達のことを考えると何とかしてあげたいという思いから私達は要望し続けます。

事務局：市役所本庁舎の建て替えも決まっていな中で葦崎市のような大きな図書館は望めませんが、たくさんご意見をいただいていることは上に伝えていきます。

【参考 葦崎市立大村記念図書館：2,964㎡ 北杜市8図書館総計：4,819㎡】

会長：私も会長の立場から図書館の充実を願いますが、市の財政が逼迫していることも承知しており無理なことはわかっています。8館残す要望をとるか1館を充実させる要望をとるかは難しい問題ではありますが、そのような要望を届けることを事務局にはお願いします。

事務局：承知しました。

② その他

なし

報告

① 金田一春彦ことばの学校事業の今後について

事務局：すでに報道等でご存知かと思いますが、去る8月31日に行われた第20回金田一春彦ことばの学校をもって一つの区切りをつけ、この名称での事業は終了することになりました。今後どのような形で続けていくのかが市の懸案事項であり、図書館としてもどのようにしていくのかを問われています。ことばの学校は実行委員会が主体となり、春彦先生の長女田中美奈子氏、長男金田一真澄氏、次男金田一秀穂氏の協力をいただき、特に田中美奈子氏には企画やシナリオ作成などご尽力いただきました。このように力をお借りして運営してきた事業のため実行委員会が解散することが決定している現状で同じような事業を継続していくのは困難ですが、講演会や座談会であればご協力いただけることを確認しておりますのでそれらを開催したり、春彦先生から寄贈していただいた2万点余りの資料を活用しながらことばに関する講座を開いたり方言劇を上演するなど積極的に取り組んでいきたいと考えています。従来のことばの学校のような1日かかりの大きなイベントは行わない方向です。

会長：経過と今後についての説明がなされました。金田一家の多大な協力のもとに行われてきた事業のため同等のことはできないけれども不定期で言葉に関連するイベントを行っていくということですね。質問等ございましたらお願いします。

委員：ことばの学校には数回しか参加していませんが、1日がかりのイベントはすごいことだなあと感じました。実行委員の負担も大きく、金田一家の皆様の尽力も多大だと思います。一方、まわりを見渡すと高齢者の方が多く、生涯学習の場であるという雰囲気が漂っており、若い方がもっと参加しやすい場にする工夫が必要であると感じました。なくなってしまうのは寂しいですが、ずっと続けていくことも不可能ですし、いいタイミングだと思います。土曜ことば楽にシフトする形をとってもいいし、川柳だけでもいいと思います。

会長：感想と提案でした。

委員：方言川柳は県外からも広く応募があったということで、楽しみにしている人が多くいる表れとして残してほしいと思います。川柳の勉強会や品評会のようなことをしてもおもしろいと思います。

事務局：ありがとうございます。アンケートでも続けてほしいという声をいただきました。突然の終了となり、これまで応援してくださった皆様には申し訳ない思いです。実情としては毎月の会議に加えリハーサルもあり、年15回は集まっています。川柳については過去に応募いただいた方々に事務局から要項を送付して応募を促していました。表面的には事務局の仕事はそれほどでもないように見えますが、実際は非常にボリュームがあり、残業が常態化していたので事業を見直す中で川柳をどのような形で継続することができるか未定です。学校に協力をお願いしたり、単発の講座としたりする案もありますが、川柳自体を行うかどうか現時点では未定です。

会長：いろいろな形を今後検討してください。

事務局：はい、承知しました。

② 各図書館の近況報告について

*各図書館より資料に基づき説明

*事務局より訂正：たかね図書館の11月30日のイベントが<事業計画>にあります。<事業報告>とさせていただきます、参加人数は23名でした。

ライブラリーはくしゅうの<事業計画>のアドバンス・ケア・プランニングの曜日が12月8日（土）ではなく（日）の誤りです。以上訂正いたします。

会長：9月20日から来年1月31日までの活動報告および予定が示されました。質問等ございましたらお願いします。

委員：ながさか図書館の定例行事「えいごであそぼう」についてですが、目的と内容、参加人数を教えてください。

事務局：この事業は長年にわたり実施しています。地域の子供向けに英語の本やカードを使って英語に触れる機会を作っています。参加人数は少ない時で2、3人程度、多い時で8人程です。

委員：幼児が対象ですか？

事務局：3～5歳の未就学児が多いですが小学生が参加しても大丈夫です。参加メンバーによって講師が内容を決め、臨機応変に対応しています。

委員：オリンピック関連で山梨県はフランス語に取り組んでいますが、なぜ英語なのでしょう？異文化に触れるという目的ですね。

委員：「公共・学校図書館連携協力会議」について、どのように連携しているのですか？

事務局：年2、3回程度、旧町村単位で行っており、ながさか図書館は高校とも連携しています。このように密に連携し活動していることは県内でもアピールできる点です。8町の中でも特に特徴的なのはながさか図書館で、長坂小、長坂中、甲陵中、甲陵高、北杜高と連携し、会議は年4回行っています。「ブックトーク事業」に力を入れており、図書館司書だけでなく学校の先生が他校に出向いてブックトークをしています。中高では共通テーマを設けて行うこともあり、昨年は北杜高校が「金融や経済のしくみ」を学ぶ金融教育研究校になっていたことからお金についてのブックトークを行いました。また「ビブリオバトル」や読書推進活動として「やま読うちどくPOP事業」も行っています。学校で展示が終わった後、それらをお借りして図書館でも本と併せて年間通して入れ替えを行いながら展示しています。

委員：素晴らしい活動ですね。学校と連携することは子供達と関わることなので非常に有意義な活動だと思います。図書館のことを子供達に知ってもらい、保護者も引き込んで広がってほしいと思います。先日、地区の文化祭で生徒の短歌が展示してありましたが、どれも秀逸でした。それらも連携して図書館でも展示するなど、一般の利用者が子供達の感性に触れられる機会があるというのは良いことですね。

事務局：とても完成度の高いPOPですので見に来ていただきたいです。また貸出数も増えており、POPの影響があると思われます。

委員：自分の子供の作品が展示してあると親は図書館に行ってみようと思いますね。他の子供達のことともわかるし、素晴らしい活動ですね。ぜひ各館でも行ってほしいと思います。

会長：各校でも行っていますね。

委員：オリジナルしおりを作成し学校で展示した後、図書館でも展示したことがあります。

事務局：たかね図書館でも「家読（うちどく）ポストカード」という親子で本を読んだり家庭で共に本を読む時間を持つことの感想などをポストカード形式で記入したものを各校分展示しています。

委員：私自身もっと図書館に行かなくてはと反省しています。これからは頻りに足を運んで図書館の様子を確認しようと思います。

会長：学校へ出向くことは時間と労力が必要になりますが、子供達が本に親しみ、生涯にわたって読書が続けていこうとする取り組みは陰に隠れがちではありますが、図書館の方でもご苦勞いただくようお願いします。他にありますか？

委員：市の長期計画の中で図書館の整理・縮小する案が出ていることを他所から聞いたの

ですが説明をお願いします。

事務局：平成29年度の市民説明会において、北杜市公共施設適正配置に向けて検討する中で、市を3つのエリアに分けて考えるという案が長期計画の一つの方向性として企画課から示されたようです。図書館の統廃合について、具体的には何も決まっていません。長坂地区、高根地区の小学校のように統廃合するとすれば、図書館適正配置等検討委員会を立ち上げ、市民アンケートを取るなどして、時間をかけて決めていくものだと思います。図書館のあり方の一案としては貸出業務のみを行う分館制や開館曜日を制限する形が考えられます。人口が減り、税収が減り、資料費が減って8館の運営が難しくなれば、まずはそれらを実行してから、統廃合を含め適正配置の検討に入るのではないかとあくまで個人的な意見ですが推測しています。

委員：長期計画の一つの方向性として市民説明会の中で話されたということですか？

事務局：あくまでも一案ということで提示したと聞いています。

委員：市が施設の3分の1を削減したいということでタウンミーティングに参加しました。施設の複合化には賛成ですので、明野図書館を支所に移設して複合化したらどうかと意見を出しました。子供が自学自習の体制を取ることができればさらに学力が伸びると思われしますので、地域にそのようなことができる場所としても図書館は重要な役割があるのではないのでしょうか。

委員：3つのエリアとは具体的に決まっているのですか？

事務局：手元に資料がありませんので確かではありませんが、明野・須玉エリア、武川・白州エリア、高根・長坂・小淵沢・大泉エリアとなるようです。

会長：市民説明会やタウンミーティングでそのような話が出れば、誤解や疑問が生じるのも当然のことですね。他にありますか？

事務局：その他報告があります。

①平成28年度、29年度、30年度と利用者にどんな雑誌を購入したらよいかという内容でアンケートを実施してきましたが、得られた回答は偏りがあり購入の目安とならないものであり、また、予算の面からも利用者の期待に応えられないため今年度は実施しません。必要性がある時に実施しようと考えています。

②11月1日にやまびこホールにて行われた市制施行15周年記念式典にて、金田一春彦先生の奥様の金田一玉江氏が特別表彰（永年にわたりことばの学校方言川柳の副賞である辞書を寄贈され教育奨励に寄与）、田中美奈子氏は善行表彰（ことばの学校や土曜ことば楽を無償で企画・出演）、ことばの学校実行委員会は市民栄誉賞、図書館運営に関わるボランティアは延べ200名以上いますが、中でも定期的におはなし会への参加や深く関わっていただいているボランティア団体（各館1団体）は善行表彰されました。今年度は8団体でしたが、随時推薦していきたいと考えています。

③次回開催は令和2年2月14日（金）13時30分より金田一春彦記念図書館にて行います。

以 上